

## 過去の機密漏洩事故

### 運搬時の散乱のリスク

#### 路上に給与明細など大量に散乱 寒河江市 2015年3月16日 22:06



16日午後、山形県寒河江市で、走行中のトラックから教員の給与明細などを含む大量の書類が路上に散乱した。

16日午後3時15分ごろ、寒河江市の県道で、大量の書類が散乱していると警察に通報があった。書類は、走行中のトラックの荷台から路上に落下して散らばったもので、中には、公立学校の教員の給与明細もあり、金額や名前などの個人情報情報が記載されていた。

山形県の村山教育事務所によると、当時、トラックの荷台には合わせて約480キロ分の書類があり、その半分近くが路上に散乱した。

これらの書類は、廃棄するため清掃工場に運搬中だったということで、運転していた職員が操作を誤って荷台を動かしてしまい、路上に落下した。散乱した書類はすべて回収されたという。

日テレnews24より

2016年1月8日  
日経新聞より

2016.1.8

### 児童254人情報一時紛失

#### 広島の養護施設 入所理由など記載

広島県は10日、家庭のどに入所している、1〜18歳の児童ら254人分の氏名などが記載された書類が一時紛失し、その近所の人が見つけ、警察に届けた。情報が外部に流出した恐れもあるが被害は確認されていない。書類は「県西部こども家庭センター」（広島市南区）が作製したA4判11枚の「措置児童台帳」で、生年月日、入所先の施設名も記載。昨年6月、支援方針を決める同センターの会議で、職員ら6人に配布された。6人ともその後、廃棄用の段ボールに捨てたとしており、今月8日には他の段ボールと共に業者に引き渡した。業者は県の調査に対し「適正に処分した」と答えている。同センターの浜崎雄司所長は「経緯の解明を図り、徹底した再発防止策を検討する」としている。

後見つかったと発表した。入所理由が「虐待」と書かれたり、保護者の住所が記されたりした児童もいた。県によると、9日午前、広島市内の市道上に書類が落ちているのを